

# 久米島町の今年の予算

平成28年度  
予算総額

95億3,553万6千円

一般会計	74億820万円	1.8%	増加
国民健康保険特別会計	14億7,093万8千円	1.8%	増加
後期高齢者医療特別会計	7,153万円	-0.6%	減少
下水道事業特別会計	2億8,382万8千円	-16.0%	減少
水道事業会計	3億104万円	-4.5%	減少
合計	95億3,553万6千円	0.9%	増加

去年と  
比べると



## 去年と比べて何が変わったのかな？

一般会計の増減理由  
(目的別の増減額が大きいもの上位3位)

### 第1位 総務費 4億1,916万7千円の増加

沖縄振興特別推進交付金を活用して火葬場・葬祭場整備事業や子育て支援事業としてふれあい公園へ大型遊具の設置を予定していることから総務費が対前年度比で約27%増加しました。

### 第2位 農林水産業費 2億3,294万9千円の減少

水産物供給基盤整備機能保全事業や漁村整備交付金事業の事業量の減により対前年度比で約24%減少しました。

### 第3位 土木費 4,723万8千円の減少

昨年実施した新興通り駐車場整備事業や水産物加工施設関連道路整備事業の完了に伴い、対前年度比で約6.2%減少しました。

その他、小中学校の体育館の天井等落下防止対策に要する経費や清水小学校校舎の耐力度調査、学校給食センターの耐力度調査に係る経費等を計上したことから、教育費が対前年度比で2千349万5千円(3.8%)増加しています。一方、消防デジタル無線整備事業が昨年度完了したことに伴い、消防費は3千48万3千円(9.3%)減少しています。

## 平成28年度 予算編成のポイント

平成28年度当初予算は、歳入では自主財源の柱である町税の収入総額に占める割合が依然として低い状況(8.8%)であり、地方交付税や国庫・県支出金等の特定財源に大きく依存した構造となっています。その中でも、地方交付税は合併算定替えの特例期間が終了から4年が経過し、一定程度の減額を見込んでいることから、更に厳しい状況となりました。一方、歳出では義務的経費である人件費、公債費及び扶助費の割合が高く、弾力性に乏しい財政構造となっており、特に今後は高齢化の進展に伴う社会保障費の自然増が予想されます。これらの状況を打開するため、第2次久米島町総合計画を策定し、人口増加や「しごと」の創造をはじめとする各施策を積極的に展開するとともに、教育、福祉、医療分野など、町民の生活に必要な不可欠な行政サービスの維持と住民福祉の向上に取り組めるよう予算を編成しました。